

Title	ISO/TC 1 0 6 (国際標準化機構 / 歯科専門委員会) 第 5 0 回年次会議報告
Author(s)	坂本, 輝雄
Journal	歯科学報, 115(2): 146-146
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/3592">http://hdl.handle.net/10130/3592</a>
Right	

## ミーティングレポート

### ISO/TC106(国際標準化機構／歯科専門委員会)第50回年次会議報告

A report of the 50<sup>th</sup> Annual Meeting of ISO/TC106

坂本 輝雄

Teruo Sakamoto

東京歯科大学歯科矯正学講座

(Department of Orthodontics, Tokyo Dental College)

ドイツのベルリン市で2014年9月14日から20日まで開催されたISO/TC106第50回年次会議に出席したので、その概要について報告する。今年の会議はドイツが幹事国となり、DIN(Deutsche Industrie Normen: ドイツ工業規格)会館で行われ、日本を始め21か国より320名が参加した。ISOとは国際規格の一つであり、International Organization of Standardizationの略称で、TC106は歯科の専門委員会として歯科材料の規格を決定する。日本代表団は富山雅史団長(日本歯科医師会・器材薬剤担当常務理事、本学昭和57年卒)を筆頭に、吉川秀隆副団長(日本歯科材料器械研究協議会会長)、日本歯科医学会より岡野友宏昭和大学名誉教授、日本歯科医師会器材関係委員会、日本歯科器械工業協同組合、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)、大学関係者、歯科業界関係者など、総勢74名が会議に臨んだ。本学からは小田豊名誉教授が日本議長として、私はエキスパート(専門知識をもつ委員)として参加した。

この会議は歯科用器械・器具などの国際規格を決めるもので、8つのSC(Subcommittee: 分科委員会)から構成され、SC1: Filling and restorative materials(充填および修復材料)、SC2: Prosthodontic materials(補綴材料)、SC3: Terminology(用語)、SC4: Dental instruments(歯科器具)、SC6: Dental equipment(歯科器械)、SC7: Oral care products(オーラルケア用品)、SC8: Dental implants(歯科用インプラント)、SC9: Dental CAD/CAM systems(歯科用CAD/CAMシステム)となっている。また、WG(Working Group: 作業グループ)は現在51あり、3年間で一つの国際規格を作成することになっている。このWGでは各国から派遣されたエキスパートが国の政策的、技術的立場で討議し、規格作成作業が進められる。日本にもJIS(Japanese Industrial Standards: 日本工業規格)があり、ISO規格に整合させたJISにするためには、ISO会議に出席して我が国の状況を反映したISO規格にする必要がある。私はSC1のWG13(Orthodontic products)、WG14(Orthodontic elastics)にオブザーバー、WG17(Orthodontic anchor

screw)にエキスパートとして参加した。WG13はBracketの腐食試験方法が議題で、今後3年間をかけてISO規格を作成することとなった。WG14では矯正用Coil springが議題で、今年は2年目にあたり、来年の会議でISO規格が決まる運びとなった。エキスパートとして参加したWG17は、昨年のInchonで行われた第49回年次総会で新しく設置が決まったWGで、まだWD(Working Draft: 作業原案)の段階で、今後3年間をかけてISO規格を作成することになる。歯科矯正用アンカースクリューは、我が国においては2012年7月27日に歯科医療機器では初めて公知申請から一般的名称が創設され(官報第5851号、厚生労働省大臣告示第454号)、その後、数社の製品が薬事承認され、2014年の保険診療報酬改定では保険導入された歯科材料である。Convenor(コンビーナ: 座長)はWDの提案者であるドイツのBonn大学のBourauel教授で、Scope, Terms and definitions, Symbols and abbreviated terms, Requirement, Sampling, Test method, Manufacturer's information, Packing等について規格作成の作業を行うこととなった。今年は1回目ということもあり、重要な案件である用語や試験方法などについては次回に持ち越しとなった。

第51回年次会議は2015年9月27日から10月3日までBangkok(Thailand)で開催される予定である。



SC1: Plenary(総会)